

より良い労働環境にするため ～業務改革～

2020年10月7-8日
グループ5

背景と目的

- ▶ コロナ禍でやむを得ず、在宅勤務を実施することとなったが、実際、在宅勤務を行った結果により、現在の業務で「できること」、「できないこと」が明確になった。
- ▶ また在宅勤務を実施した際に、コミュニケーションができないことによる業務の遅延や各個人が初めての労働環境に不安を感じながら業務を行っていた。
- ▶ 緊急事態宣言や災害などの非常時の場合、大学事業を継続させるためにインフラ面の強化が課題となった。

“ 働き方の多様性を実現するために ”

→ 一つ的手段としてテレワークを検討した

業務改革に向けた課題

1. 三者の
コミュニケーション

2. ペーパーレス

3. ファイルサー
バーのセキュリティ

1. 三者のコミュニケーション

【職員－職員】

- マニュアル
- 報・連・相
- 部署内共有と他部署連携

【職員－教員】

- ペーパーレス化による負担軽減

【教職員－学生】

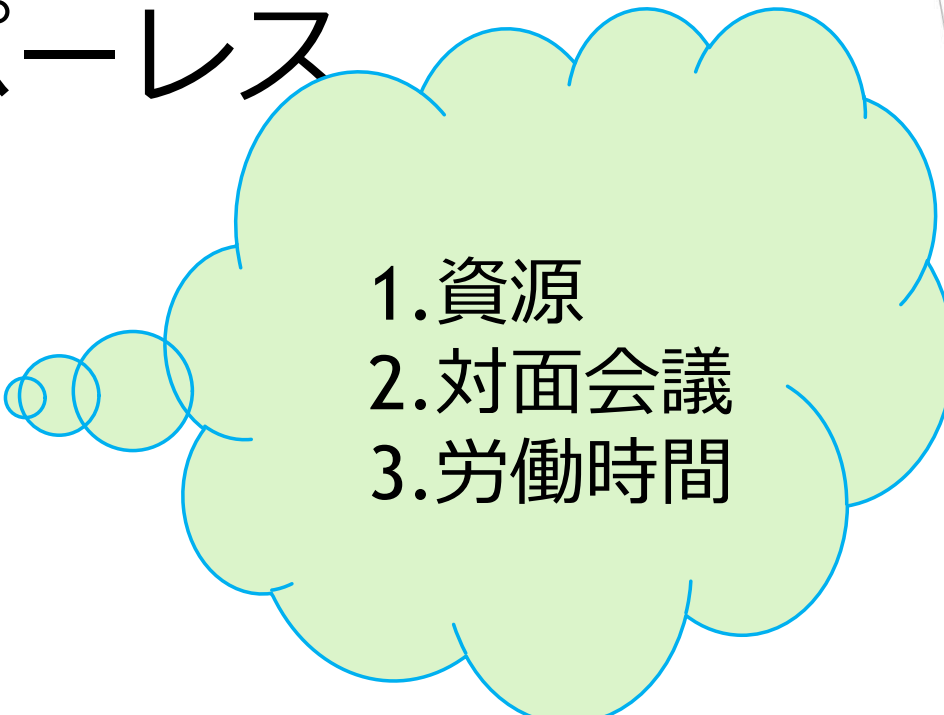
- ポータル
- SNSの活用
- 情報の一本化




テレワーク・コミュニケーションツールだけでは不十分では？

2. ペーパーレス

期待できる
3つの削減

- 
1. 資源
 2. 対面会議
 3. 労働時間

逆にデメリットは・・・？

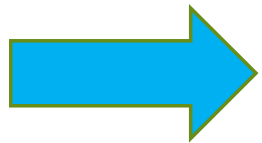
- 
- ▲受け手側はデータ資料だけで十分理解ができているか
 - ▲根強い反対意見

3. ファイルサーバーのセキュリティ

どこにいても仕事ができるようするために

【モラル・意識の問題】

問：システム関係部署だけの問題か？

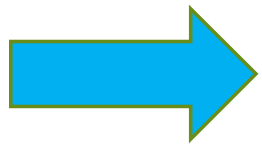


講習会での意識合わせ
誓約書

セキュリティに係る情報発信による意識醸成

【セキュリティに係る技術の問題】

問：技術でセキュリティをまもるには？



外部送信のためのダブルチェック
VPNを用いたセキュリティ強化

具体的な課題と解決策

▶ 1. 三者のコミュニケーション

【課題】対面でコミュニケーションができないことにより、報告・連絡・相談できない。

【解決策】大学としてのSNSを用いた情報発信

マニュアル整備により、一人でも業務遂行できる環境づくり

職員、教員、学生それぞれが気軽に相談できるSNSサービスの提供

▶ 2. ペーパーレス

【課題】現物の紙（会議資料や決裁書類）をいかに電子化や手続きの簡略化ができるか。

【解決策】電子決裁システムや会議実施方法の見直し

規程整備による決裁回付ルートの見直し

▶ 3. ファイルサーバのセキュリティ

【課題】利用者のモラルと危機管理の問題、利用したパソコンのデータの取り扱い

【解決策】データ取り扱いに関する誓約書の提出、利用者へのセキュリティ講習会の定期的な実施

メール送信するデータを管理職が承認する仕組み、VPNによるセキュリティインフラ強化

利用者のセキュリティ対策（ウイルス対策ソフトやOSの更新プログラムが最新であること）

による利用条件などルール化

セキュリティに関する最新情報を教職員間の情報共有

よりよい労働環境にするために・・・

- ▶ 大学において、テレワークとして新しい働き方を取り入れることができた。
- ▶ **ICT環境整備により、新しい価値創造を実現するために、一人ひとりが「働きがい」、「やりがい」を持てる環境づくりにチャレンジしていく**